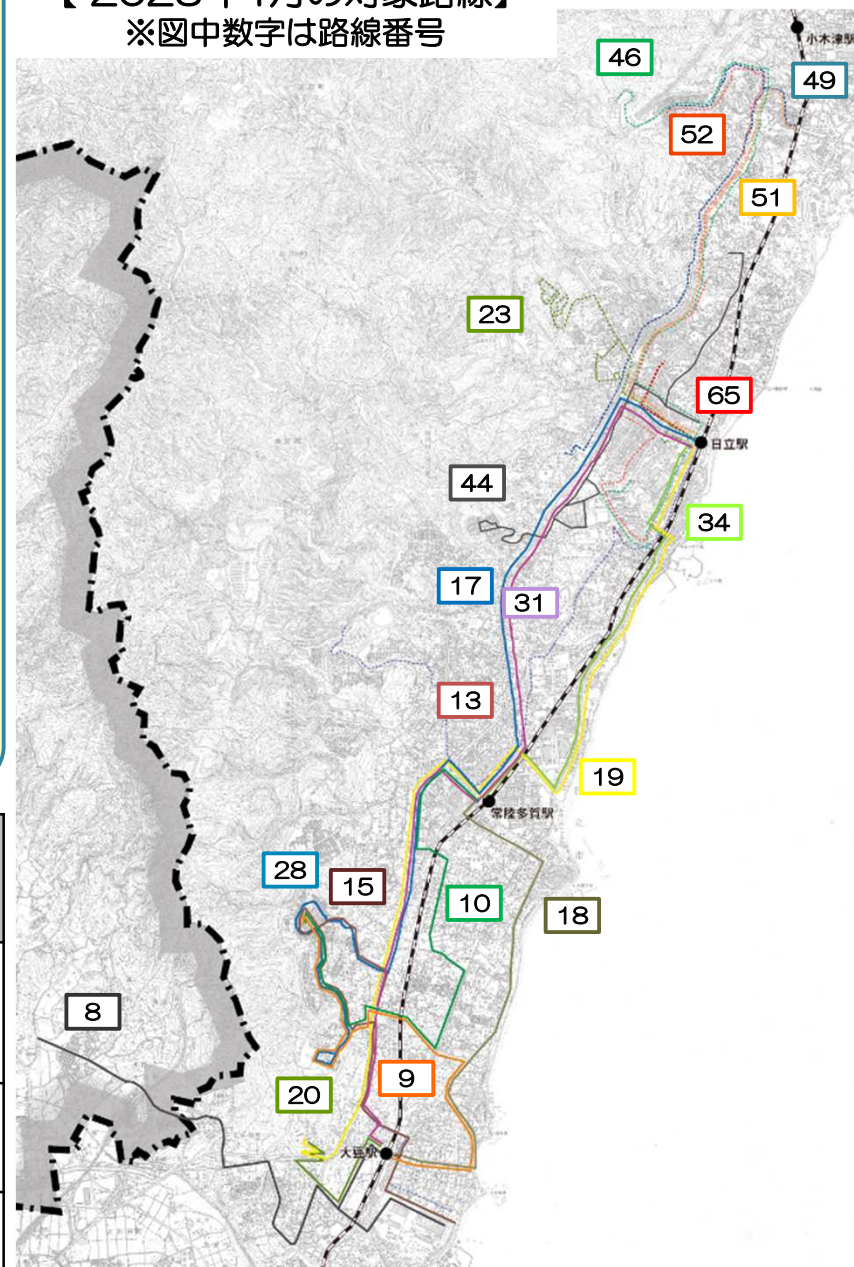


日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

- 2019年4月（第1次再編前期）及び2020年4月（第1次再編後期）に、ひたちBRT第Ⅱ期の本格運行（BRT専用道路の全区間開通と大甕駅東西駅前広場・取付道路整備）に合わせて段階的に再編事業を実施。2021年4月にはコロナ禍での利用者数大幅減に対応する運行回数の見直し、2022年4月には利用状況、住民のニーズ、走行環境に対応する見直しを実施。
- コロナ禍に大幅に減少した利用者数は、徐々に回復しつつあるものの、リモートワークやオンライン授業等の新しい生活様式の定着により、コロナ以前の利用者数までは回復していない。
- 更に、恒常的な運転士不足や2024年4月から運転士の労働時間の改善が予定されているなど、利用状況や利用ニーズを踏まえつつ、より一層の運行の効率化が求められる。
- 上記の状況を踏まえ、効率的な運行を実現するため、利用者数が少なく代替便がある（前後の時間の便がある、別の路線が運行している）便について、当該系統の見直し（廃止、新設）やダイヤ見直し（回数変更）を実施する。

【2023年4月の対象路線】
※図中数字は路線番号



23年4月 実施	対象系統数【対象路線番号】			対象系統の 増減便数 (変更前の総便数)
	系統廃止	系統新設	回数変更	
再編対象 路線	5系統 【9,18,19, 49,52】	3系統 【13,15,65】	12系統 【8,10,15,17, 20,23,46】	△17便 (157便)
現状維持 路線	—	—	6系統 【28,31,34,44,51】	△5便 (34便)
合計	5系統	3系統	16系統	△22便 (191便)

日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

システムの廃止・新設及び回数変更の対象系統

路線番号 (計画書)	系統番号		系統名	便数 (便)						実施概要の 内容番号 (P4~8)	変更内容	計画書での扱い			
				現行		変更後		増減				再編対象	第1次再編後期の 計画書掲載の状況		
				往路	復路	往路	復路	往路	復路						
8	124		真弓ヶ丘～南高野団地～大甕工場前	2	5	2	4	0	-1	内容6	回数変更	再編対象 路線	後期に掲載済み		
9	229	228	金沢団地～みかの原団地～水木～大甕駅東口	4	4	1	2	-3	-2	内容2	回数変更		前期の再編対象路線であった ため、後期に追加掲載		
	230		金沢団地～水木～大甕駅東口	0	1	0	0	0	-1		系統廃止				
10	225		金沢団地～水木～大沼社宅～多賀駅前	4	4	1	2	-3	-2		回数変更				
13	212		多賀駅～シオン学園入口～大甕駅西口	0	0	1	1	1	1	内容1	系統新設		再編対象 路線	後期に掲載済み	
15	231		金沢団地～台原団地～大甕工場前	1	3	1	0	0	-3	内容3	回数変更				
	244		金沢団地～台原団地～大甕駅東口	1	1	1	0	0	-1		回数変更				
	232		金畑団地～金沢団地～台原団地～大甕工場前	0	0	0	3	0	3		系統新設				
17	272	273	みかの原団地～下台原～兎平～日立駅中央口	7	5	3	3	-4	-2	内容4	回数変更				前期の再編対象路線であった ため、後期に追加掲載
	279		下台原～金沢団地～兎平～日立駅中央口	16	18	20	20	4	2		回数変更				
18	132		多賀駅前～河原子～大甕駅東口	1	1	0	0	-1	-1	内容1	系統廃止				
19	217		日立駅中央口～鮎川～多賀駅～（新国道）～日立研究所	1	1	0	0	-1	-1	内容7	系統廃止				
20	204		大甕駅東口～石名坂～日研中央	5	5	4	5	-1	0	内容5	回数変更	再編対象 路線	後期に掲載済み		
23	324		日立駅中央口～芝内～高鈴台団地	11	12	5	6	-6	-6	内容14	回数変更				
	356	357	日立駅中央口～ヨーカ堂前～日立市役所交通広場～高鈴台公民館前	0	0	6	6	6	6		回数変更				
46	473		日立駅中央口～旧国道～鞍掛山	16	20	15	18	-1	-2	内容8,9	回数変更				
	475		日製山側門～日立駅中央口～旧国道～鞍掛山	6	0	6	1	0	1		回数変更				
49	328		日立総合病院～田尻団地～グリーンタウン上合団地	0	1	0	0	0	-1	内容8	系統廃止	再編対象 路線	これまででは現状維持路線であっ たため、後期に追加掲載		
52	479		グリーンタウン上合団地～日製山側門～省線門	1	0	0	0	-1	0	内容9	系統廃止				
65	415		日立駅中央口～明秀学園日立	0	0	3	0	3	0	内容11	系統新設	後期に新規掲載			
28	221		金沢団地～下根道～大甕工場前	1	1	1	0	0	-1	内容3	回数変更	現状維持 路線	掲載なし		
31	350		日立駅中央口～多賀中学校前～平和台～小咲台団地内～平和台公園前	2	1	1	1	-1	0	内容12	回数変更				
	337		日立駅中央口～多賀中学校前～多賀駅前	5	1	6	2	1	1		回数変更				
34	134		多賀駅前～多賀国分工場前～日立駅中央口	2	2	2	3	0	1	内容7	回数変更				
44	437		成沢団地～省線門～日立駅中央口	2	1	1	1	-1	0	内容13	回数変更				
51	442		日立駅中央口～神峰公園口～田尻団地	6	10	4	7	-2	-3	内容10	回数変更				

※No.23以外の便数は平日の便数

※No.23の便数は土日の便数

日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

実施概要①

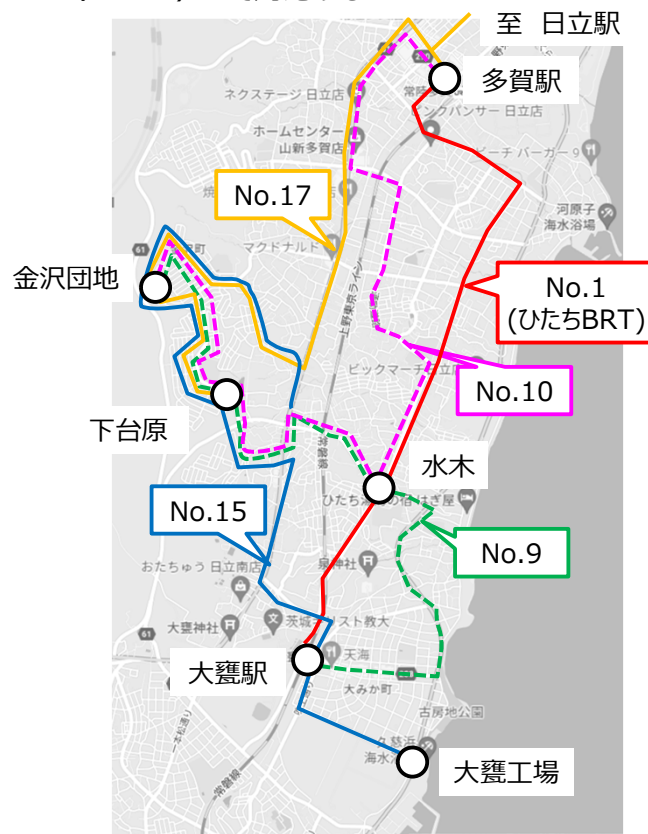
内容1 海端団地線（No.18）の廃止と多賀駅～大甕駅間の強化（No.13）【系統廃止・新設】

利用者が少ない（2.6人/日）の海端団地線（No.18：系統132）を廃止する。廃止に伴い、現行利用者は並行するひたちBRT、新設する多賀駅～シオン学園～大甕駅（No.13：新設系統）、金沢団地～大甕駅東口（No.9：系統228）、大甕駅東口～大甕工場前～大甕駅東口（No.27：系統255）にて対応する。また、新設系統により需要の多い多賀駅～シオン学園～大甕駅間の増便を図る。



内容2 金沢団地～水木間の運行効率化【系統廃止・回数変更】

金沢団地～水木～大甕駅東口線（No.9：系統228,229,230）及び金沢団地～水木～多賀駅前線（No.10：系統225）は、利用者が比較的多い午前のみ運行し、利用者が少ない午後の便を減便（午後のみ運行する系統230は廃止）する。減便に伴い、現行利用者は並行するひたちBRT（No.1）、金沢団地～台原団地～大甕駅東口（No.15）、下台原～金沢団地～日立駅中央口（No.17）にて対応する。



内容3 金沢団地から大甕工場への通勤路線の運行効率化（No.15）【系統新設・回数変更】

金沢団地と大甕工場を結ぶ経路の違う2系統（No.15：系統231、244は下台原経由、No.28：系統221は金畑団地経由）について、夕方の便を統合し、どちらの経路地（下台原、金畑団地）も経由する系統を新設することで運行の効率化を図る。



日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

実施概要②

内容4 下台原～金沢団地～日立駅中央口（No.17）の運行効率化【回数変更】

No.17は下台原～金沢団地～日立駅中央口（系統番号279）と日中のみ運行するみかの原団地～下台原～日立駅中央口（系統272,273）が運行しているが、下台原～みかの原団地間は利用者数が少ない。そのため、みかの原団地～下台原～日立駅中央口（系統272,273）の一部便を区間短縮し、下台原～金沢団地～日立駅中央口（系統番号279）として運行する。



内容5 大甕駅東口～石名坂～日研中央（No.20）の運行効率化【回数変更】

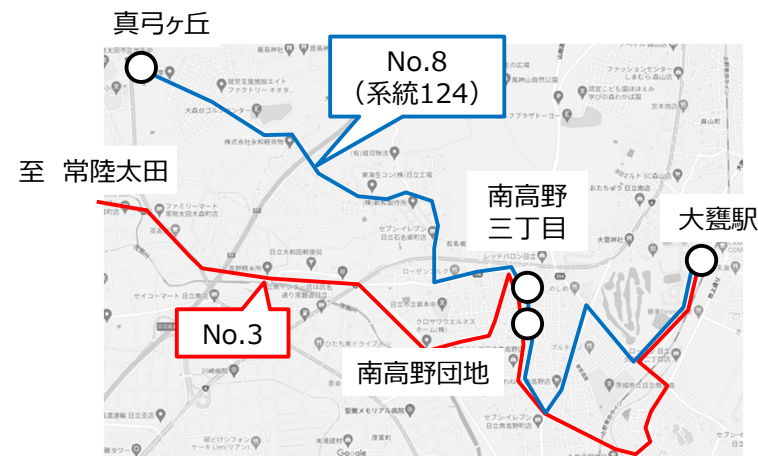
大甕駅東口～石名坂～日研中央（No.20：系統番号204）は大甕駅と日研中央を結び日立研究所の通勤需要に対応する路線である。コロナ禍以降のリモートワークの定着などを理由に利用者数が減少しているため、利用状況に応じた運行便数の集約（減便）を実施する。

③大甕 駅西口	日 中	研 中 央
7:50	8:00	
8:11	8:21	
8:25	8:35	
8:27	8:37	
8:29	8:39	

この2便を1便に集約

内容6 真弓ヶ丘～南高野団地～大甕工場前（No.20）の運行時間の繰り上げ【回数変更】

真弓ヶ丘線（No.8：系統番号124）の利用者が少ない最終便（大甕工場前22:05発：3.0人/日）を減便する。減便に伴い、現行利用者は、前の便（大甕工場前21:16発）、または大甕駅～南高野三丁目間は並行する小沢線（No.3）にて対応する。



日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

実施概要③

内容7 長大系統の区間分割による運行効率化①（No.19）【系統廃止・回数変更】

日研中央～多賀駅前～鮎川～日立駅中央口（No.19：系統217）は、多賀駅以南と以北の各区間内で利用が完結し、多賀駅を越える利用は少ない。そのため、No.19は廃止し、既存系統の日立研究所入口～多賀駅前間（No.12：系統209）と多賀駅前～日立駅中央口間（No.34：系統134）に集約して運行の効率化を図る。



内容8 長大系統の区間分割による運行効率化②（No.49）【系統廃止】

日立総合病院～田尻団地～グリーンタウン上合団地（No.49：系統328）は、銀行前以南と以北の各区間内で利用が完結し、銀行前を越える利用は少ない。そのため、No.49は廃止し、既存系統の上合団地～銀行前間（No.46：系統473）と銀行前～日立総合病院間（No.39：系統335）に集約して運行の効率化を図る。



内容9 系統の統合と便数の見直しによる運行効率化（No.52）【系統廃止】

グリーンタウン上合団地～日製山側門～省線門（No.52：系統479）を並行する日製山側門～神峰公園口～鞍掛山（No.46：系統475）に統合し、No.46の便数を見直すことで運行の効率化を図る。



日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

実施概要④

内容10 日立駅中央口～神峰公園口～田尻団地の運行効率化（No.46）【回数変更】

日立駅中央口～神峰公園口～田尻団地（No.51：系統442）は、日立駅中央口～下田尻間が利用の多くを占めており、下田尻～田尻団地間は利用が少ない。一方、並行する日立駅中央口～神峰公園口～鞍掛山（No.46）は便数も多く、日立駅中央口～下田尻間を対応できる。そのため、No.51は減便する。なお、下田尻～田尻団地間は約600mの距離だが、両バス停の間に住宅が立地しているため、当該区間の現利用者の多くは下田尻バス停も利用できる。



内容11 高校の通学需要への対応（No.65）【系統新設】

明秀学園の登校需要に対応するため、日立駅中央口～明秀学園（No.65：新設系統）を新設する。



内容12 日立駅中央口～平和台霊園前の運行効率化（No.31）【回数変更】

日立駅中央口～多賀駅前～平和台霊園前（No.31）の日立駅中央口20:02発（系統350）の区間を短縮し、日立駅中央口～多賀駅前（系統337）として運行する。短縮に伴い、多賀駅前～平和台霊園前間の現行利用者は当該路線の次便（日立駅中央口20:25発）で対応する。

③	日立駅	製山側門	運動公園前	②	多賀駅	平和台	下小咲台	平和台	霊園
19:35	19:39	19:44	19:56	20:06	20:10	20:13			
20:02	20:06	20:11	20:23	20:33	---	20:42			
20:25	20:29	20:34	20:46	20:56	21:00	21:03			
20:49	20:53	20:58	21:10	21:20	21:24	21:27			
多賀駅止まりに変更									

内容13 成沢団地～省線門～日立駅中央口の運行効率化（No.44）【回数変更】

成沢団地～省線門～日立駅中央口（No.44：系統437）の成沢団地7:35発（8.5人/日）を成沢団地8:05発に集約（減便）する。

成沢団地	ヨークベニマル	兎平(6号)	日立市保健センター前	④	日立駅	大平	神峰営業所
6:32	---	6:37	6:41	6:50	7:28	6:56	7:00
7:10	---	7:15	7:19	7:28	止		
7:35	---	---	省線門	7:50	止		
7:50	---	7:55	7:59	8:08		8:14	8:18
8:05	---	---	省線門	8:20	止		

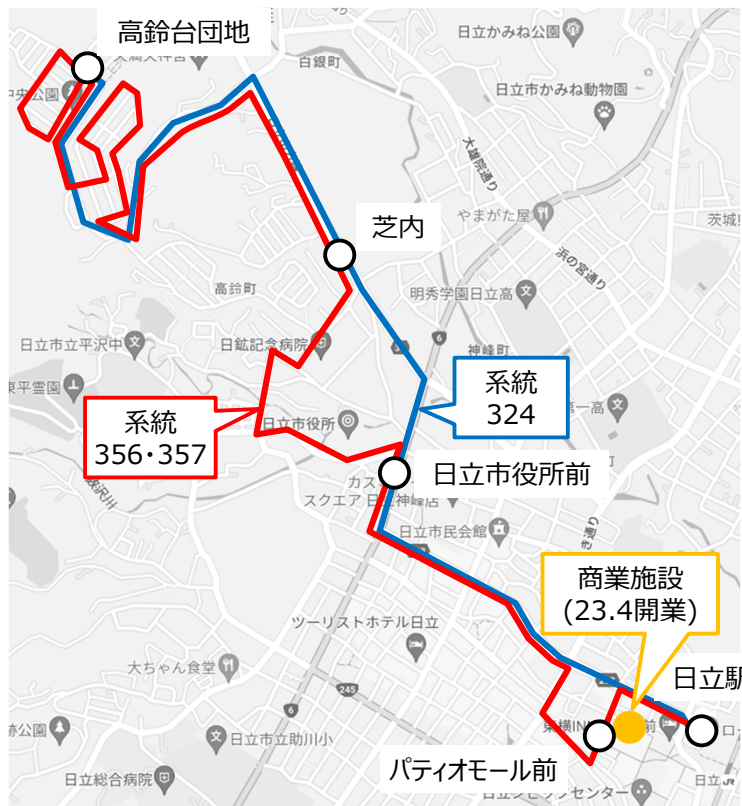
7:35発を8:05発に集約

日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2023年4月実施予定）

実施概要⑤

内容14 商業施設開業に伴うアクセス利便性向上のための運行計画変更（No.23）【回数変更】

日立駅前のイトーヨーカドー跡地にて新規の商業施設が2023年4月に開業予定であり、当該商業施設へのアクセス利便性を向上するため、高鈴台団地線（No.23）の内、施設最寄りのパティオモール前バス停（旧：ヨーカ堂前）を経由する系統（系統356・357）を土日祝日も運行し、合わせて別系統（系統324）の土日祝日の運行回数を変更します。



系統324 : 平日+土日祝日運行

系統356・357 : 平日のみ運行 ⇒ 平日+土日祝日運行

土日祝日のダイヤ（系統324：主要バス停のみ）

日立駅 中央口①	日立市役所前	芝内	高鈴台下	高鈴台 団地
9:55	10:01	10:02	10:06	10:08
10:50	10:56	10:57	11:01	11:03
12:30	12:36	12:37	12:41	12:43
13:55	14:01	14:02	14:06	14:08
14:55	15:01	15:02	15:06	15:08
15:55	16:01	16:02	16:06	16:08
16:51	16:57	16:58	17:02	17:04
17:31	17:37	17:38	17:42	17:44
18:14	18:20	18:21	18:25	18:27
18:53	18:59	19:00	19:04	19:06
19:40	19:46	19:47	19:51	19:53

系統324の日立駅中央口9:55発～高鈴台団地
16:20発の計6往復をヨーカ堂前バス停を経由する
系統356・357の運行に置き換え

高鈴台 団地	高鈴台下	芝内	日立市役所前	日立駅 中央口
8:23	8:24	8:28	8:29	8:36
8:55	8:56	9:00	9:01	9:08
10:18	10:19	10:23	10:24	10:31
11:14	11:15	11:19	11:20	11:27
12:56	12:57	13:01	13:02	13:09
14:20	14:21	14:25	14:26	14:33
15:20	15:21	15:25	15:26	15:33
16:20	16:21	16:25	16:26	16:33
17:10	17:11	17:15	17:16	17:23
17:50	17:51	17:55	17:56	18:03
18:32	18:33	18:37	18:38	18:45
19:11	19:12	19:16	19:17	19:24

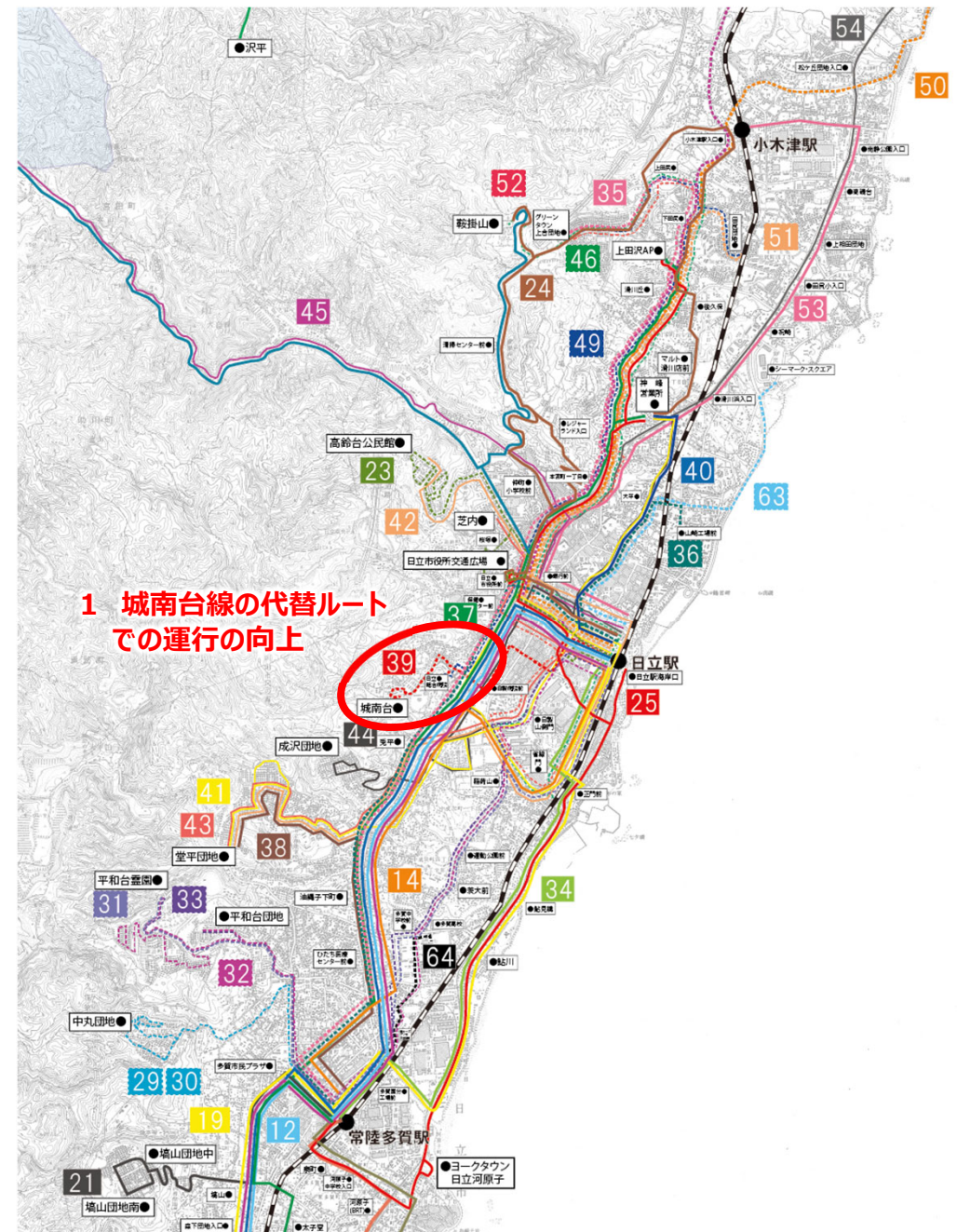
日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2022年4月実施予定）

常陸多賀駅以北

1 城南台線（No.39）の代替ルートでの運行【系統の新設】

団地内の道路の幅員が狭く、交差点の登坂部分（下図の網掛け）はノンステップ車（ポンチョ）では底面をこすため、日野リエッセ（路線バス仕様）で運行している。しかし、同車種は製造が終了しているため、現在の使用車両が故障すると、代替車がないため運行ができなくなる恐れがある。

そのため、南側のルート（下図の赤ルート）にて中型バスでの運行に切り替える。運行回数や運行時間帯は現在の運行を踏襲する。



日立市地域公共交通利便増進実施計画（第1次再編後期の計画変更：2022年4月実施予定）

常陸多賀駅以南

2 多賀総合病院の閉院に伴う塙山団地線（No.21）の運行区間の変更【系統の廃止・運行回数の変更】

2022年3月末に多賀総合病院が閉院されることから、塙山団地線のうち、多賀総合病院へ乗り入れている3系統を廃止する。

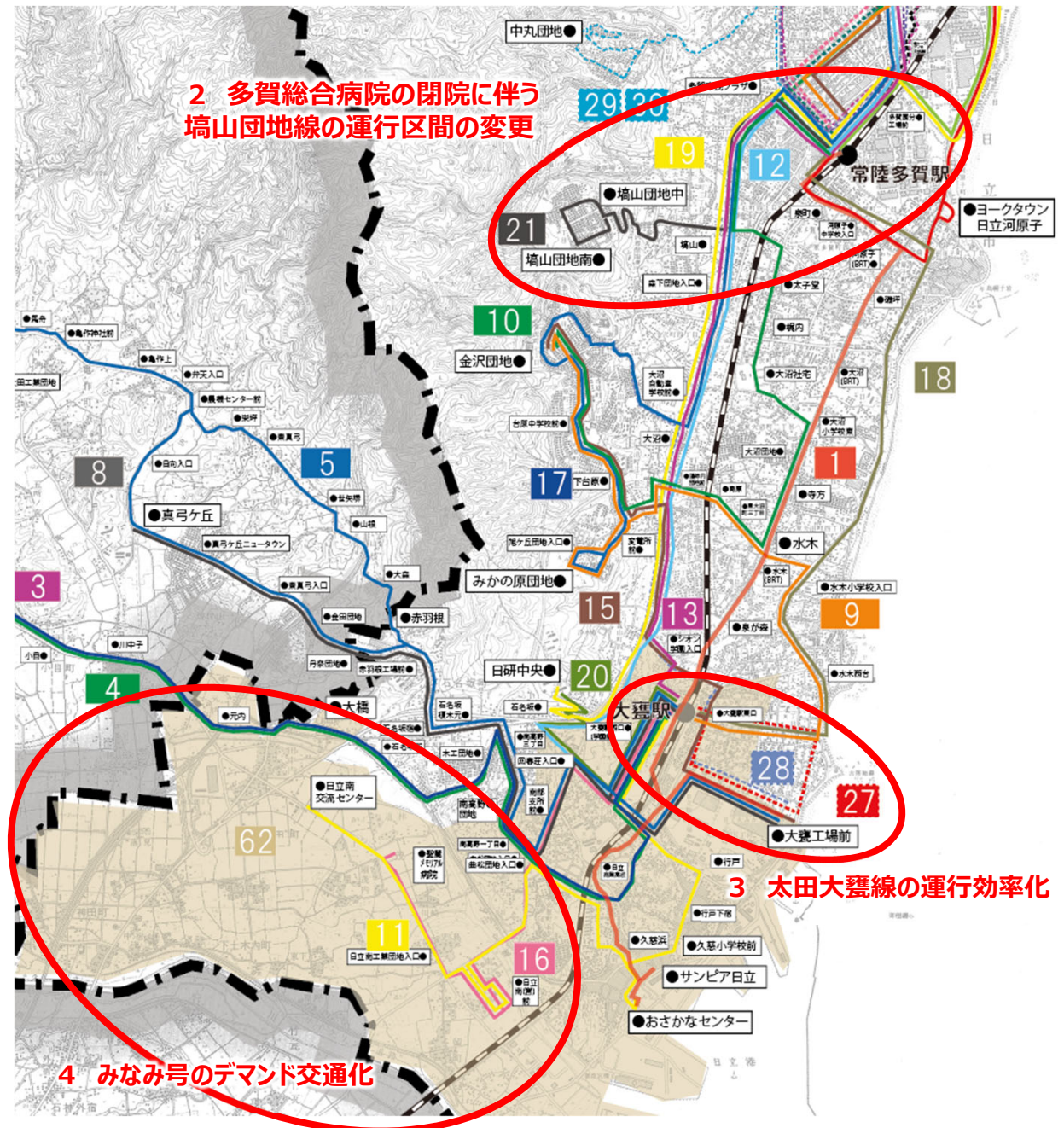
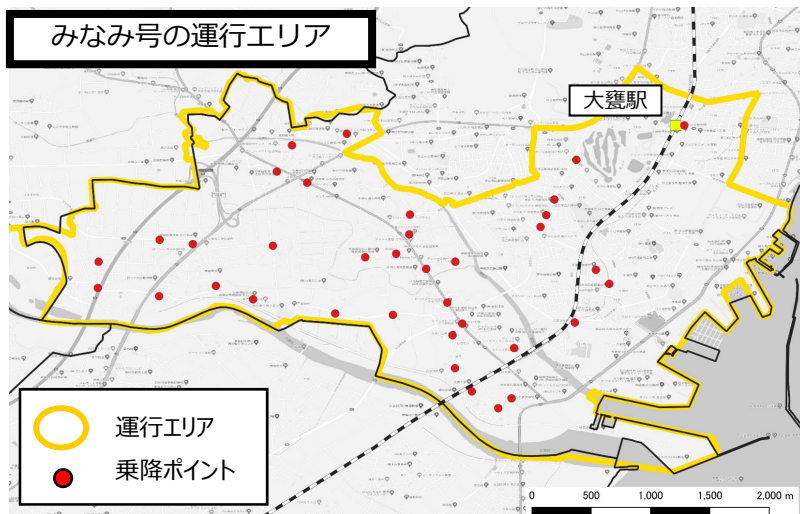
塙山団地～常陸多賀駅間の利用者への影響を考慮し、対象系統の便は多賀駅前起終点の別系統の運行へ切り替える。また、多賀郵便局入口～国分町間の利用者は別路線（No.19、34、12、13、17、31、32、33）で対応します。

3 太田大甕線（No.5）の運行効率化【運行回数の変更】

大甕工場前発の朝の1便目について、大甕工場前～大甕駅西口間の利用者数が少ないことから、該当便を大甕駅西口始発の別系統の運行に切り替えることで、運行の効率化を図る。

4 みなみ号（No.62）のデマンド交通化【運行形態の変更】

定時定路線の乗合タクシーとして運行するみなみ号について、利用者の移動ニーズに対応しつつ効率的な運行にするため、デマンド交通（区域運行、自由経路ミーティングポイント型）での運行へ変更する。



日立市地域公共交通再編実施計画

参考：第1次再編前期（2019年4月実施）

- ひたちBRTを主軸としたバスネットワークの再編の実施
- 将来の都市構造に合わせた公共交通ネットワークの形成
- 段階的に再編事業を実施し、より利用者のニーズに合った交通ネットワークの形成を目指す

【主な事業内容】

- 1 バスネットワークの再編
BRTの延伸に合わせた、
BRT及び周辺路線再編を実施
 - 2 地域間幹線の効率化
二市間を結ぶ路線の見直し
(利用実態を踏まえた、増便、
集約、新設)
 - 3 BRTフィーダー路線新設
住宅団地等からの乗継及び、
JR駅周辺へのアクセス向上
 - 4 朝夕・日中時間帯別運行
通勤・通学と日中の買い物
や通院時間帯に分けた運行
 - 5 市役所前交通広場の活用
路線バス・タクシー・乗合
タクシーの乗降所を整備～
結節点として活用
- ～ その他利用促進事業等 ～
- ・ 乗継、待合環境の充実
 - ・ パートナシップ事業の拡充
 - ・ モビリティマネジメント等

【再編後の公共交通ネットワーク】



市役所前(大屋根下)に交通広場を整備(バス・タクシー等の結節)



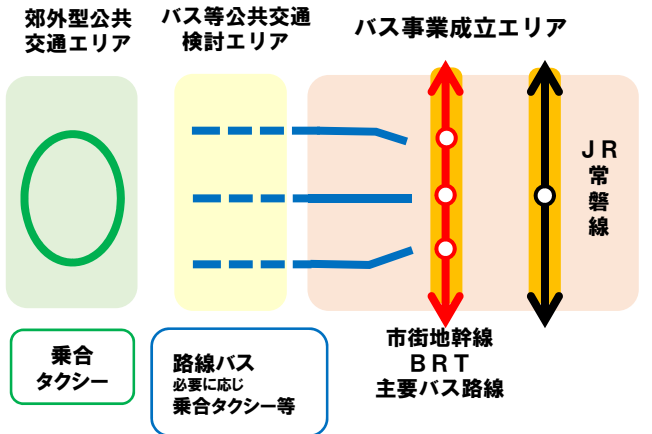
ひたちBRT第II期区間の本格運行開始に合わせた路線バスの再編



JR大妻駅及び東西自由通路の整備、西口広場でのBRT接続
※西口広場はH32春供用開始予定
供用開始までは一般路線バスは全て東口に接続

ひたちBRT第II期区間の本格運行に合わせ、既存バス路線ごとの利用状況・実態に基づく適正化を図るとともに、路線バスの利便性が低い地域の路線・本数・ダイヤ見直し等を行うことで、利用者の維持確保による交通事業者の経営環境改善を目指す。

公共交通ネットワークの考え方



バス事業成立エリアと一体的な路線バスの維持・確保を図る。地理的特性等を考慮し、他の公共交通の導入も検討(乗合タクシー等)

民間事業による路線バス市街地幹線(ひたちBRT・主要バス路線)や、JR常磐線の駅と接続する生活圏内の路線バスを維持。

日立市地域公共交通再編実施計画

参考：第1次再編後期（2020年4月実施）

- 2019年4月には、ひたちBRT第Ⅱ期の本格運行前期（ひたちBRT第Ⅱ期のBRT専用道路の全区間開通）に合わせた再編事業を実施（第1次再編前期）
- 第1次再編後期として、2020年4月のひたちBRT第Ⅱ期の本格運行後期（大甕駅西口の駅前広場及び取付道路の完成）に合わせた再編事業を実施予定

1 大甕駅前広場整備への対応

大甕駅西口と東口の駅前広場完成に伴い、東口から発着している路線の過半を西口発着へ変更する。

2 通勤時間帯のひたちBRTの増便

通勤時間帯での大甕駅・大甕工場方面への利用需要の増加に伴い、大甕工場行の1便を増便する。

3 塙山団地線の利便性向上

塙山団地内からの往復利用の利便性を向上するため、起終点を変更する。

4 久慈地区の利便性向上

久慈地区から大甕駅へのアクセス利便性を向上させるため、買物や通院時間帯にて増便する。

5 利便性向上と定時性確保のためのダイヤ改正

団地住民の要望、遅れの解消のため、バス停間所要時分の変更、所要時間・ダイヤの改正を行う。

6 シーマーク・スクエアへの路線新設

大型商業施設（シーマーク・スクエア）の開業に伴い、日立駅と大型商業施設を結ぶ路線バスを新設する。

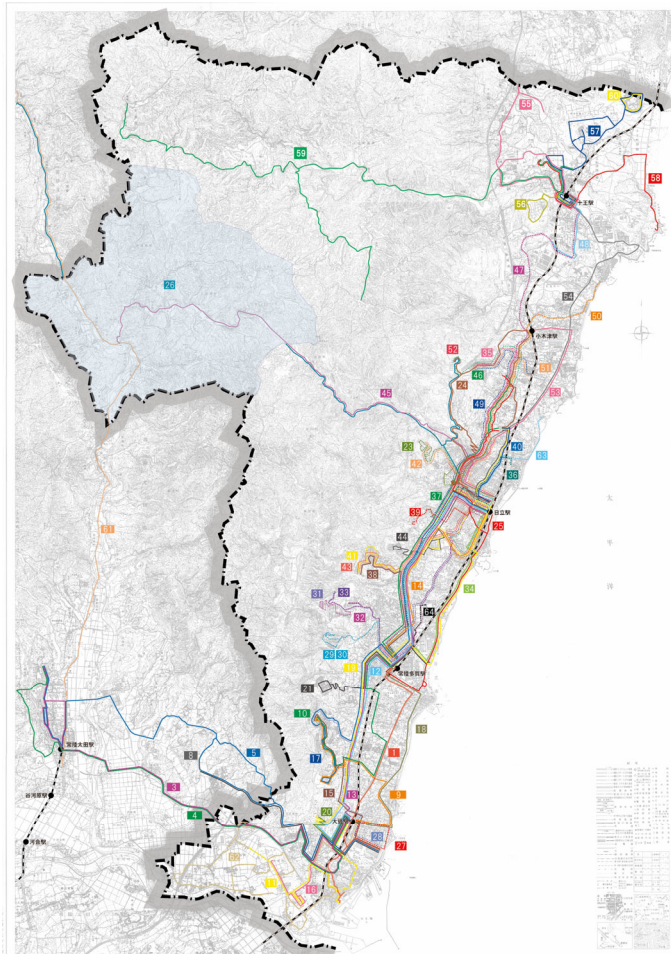
7 多賀高校への通学利便性の向上

下校時間帯に多賀高校構内から常陸多賀駅の路線を新設する。

8 運行の効率化と運転士の働き方改革

利用が少ない夜間の便を統合・集約することで、運行を効率化するとともに、運転士の拘束時間を短縮する。

【第1次再編後期の公共交通ネットワーク】



1 大甕駅の駅前広場整備への対応

【システムの廃止・新設】

大甕駅西口と東口の駅前広場の完成（2020年3月末予定）に伴い、現在は東口から発着している路線の過半を西口発着へ変更し、既に西口へ乗り入れているひたちBRTとの接続を強化する。



平日の発着便数 ※ひたちBRTを除く	大甕駅西口	大甕駅東口
現行（～2020年3月）	0便/日	233便/日
再編後（2020年4月～）	203便/日	34便/日

西口発着への変更に伴い、運行頻度が減る大甕駅東口～翔洋学園高校前間の利便性を維持するため、大甕工場線のルートを延伸し、大甕駅東口～大甕工場前～翔洋学園高校前～大甕駅東口の大甕駅東口循環線に変更する。



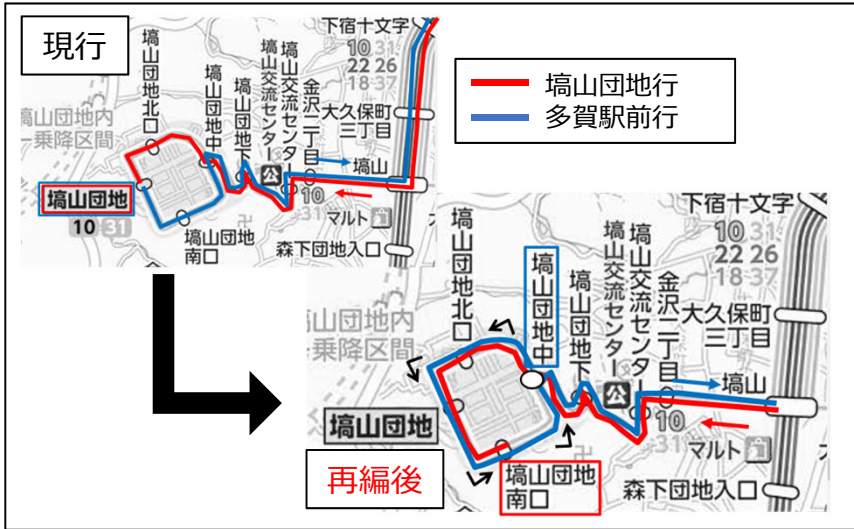
常陸多賀駅以南

2 通勤時間帯のひたちBRTの増便【運行回数の変更】

通勤時間帯での大甕駅・大甕工場方面への利用需要の増加に伴い、多賀駅前発大甕工場行の1便を増便する。（現在は続行便として運行している。）

3 塙山団地線の利便性向上【系統の廃止・新設】

塙山団地内からの往復利用の利便性を向上するため、起終点を変更する。

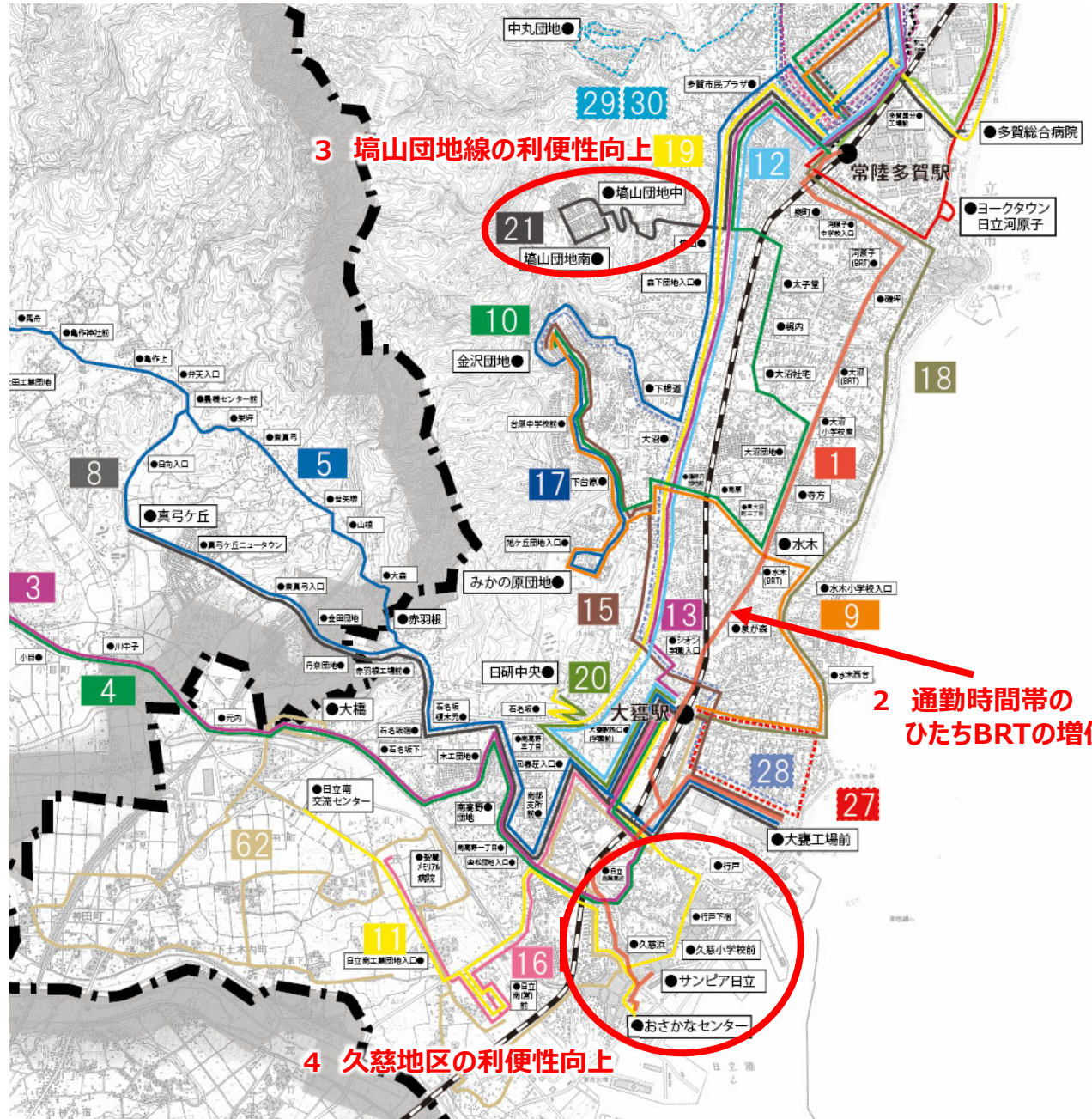


4 久慈地区の利便性向上【運行回数の変更】

久慈地区から大甕駅へのアクセス利便性を向上させるため、日立南交流センター～大甕駅西口（学園前）線を買物や通院時間帯にて増便する。

5 停留所間時分の見直し・定時性確保のためのダイヤ改正【運行時刻の変更】

ひたちBRT、高鈴台団地線、中丸団地線は、団地住民の要望、遅れの解消のため、バス停留所要時分の変更、所要時間・ダイヤの改正を行う。



3 塙山団地線の利便性向上

2 通勤時間帯のひたちBRTの増便

4 久慈地区の利便性向上

常陸多賀駅以北

6 シーマーク・スクエアへの路線バスの新設【系統の新設】

日立市公設地方卸売市場跡地における大型商業施設（シーマーク・スクエア）の2020年3月末の開業に伴い、日立駅と大型商業施設を結ぶ路線バスを新設する。

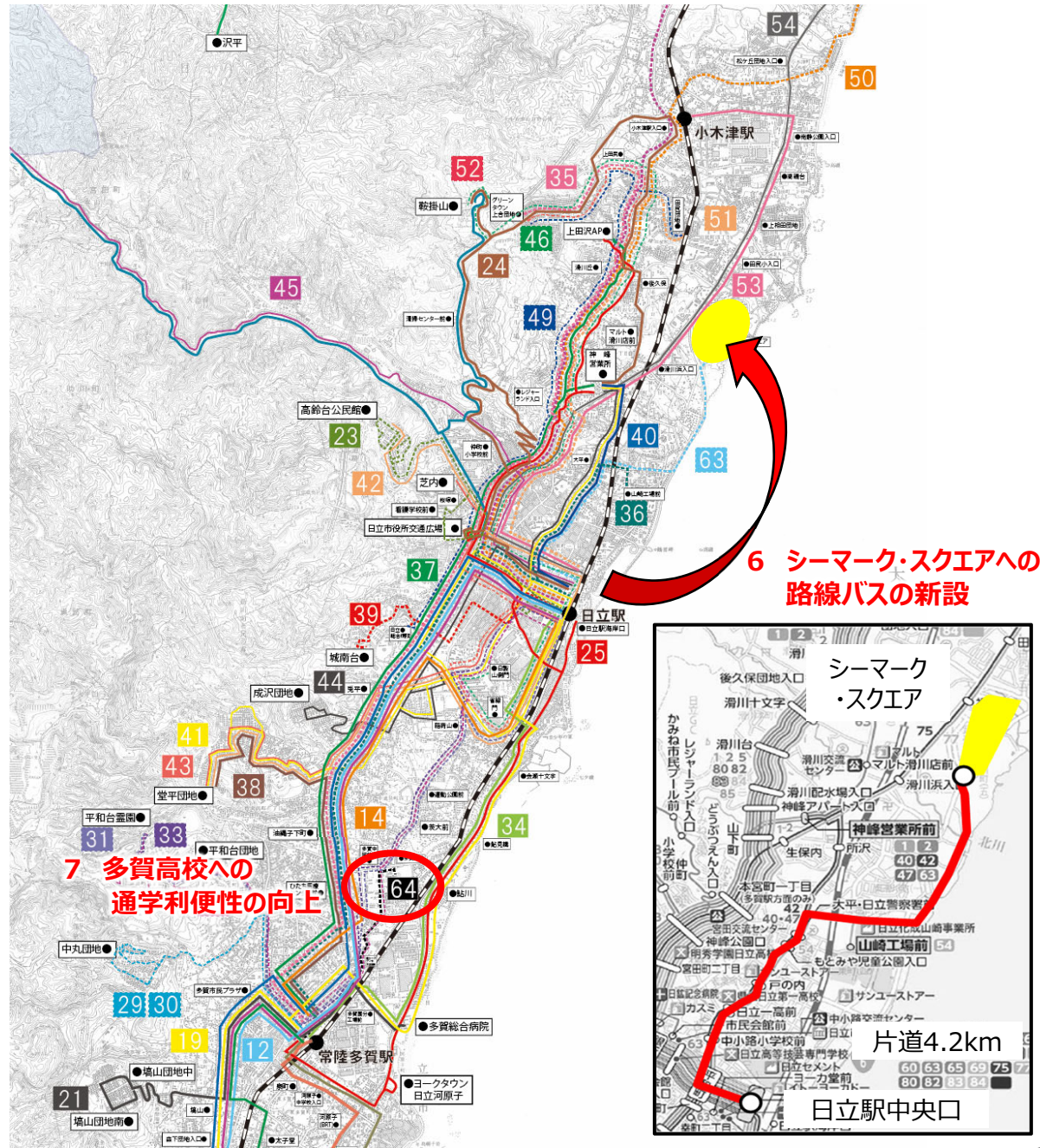


7 多賀高校への通学利便性の向上【系統の新設】

多賀高校生の通学利便性を向上するため、下校時間帯に多賀高校（校内停留所）発多賀駅前行の路線（1便）を新設する。（現行路線は、長大系統の為、下校時間にあったダイヤ設定ができていない。）

8 運行の効率化と運転士の働き方改善【運行回数の変更】

利用が少ない夜間の最終便及びその1本前の便を統合・集約することにより、運行の効率化と運転士の拘束時間の短縮による働き方の改善を図る。

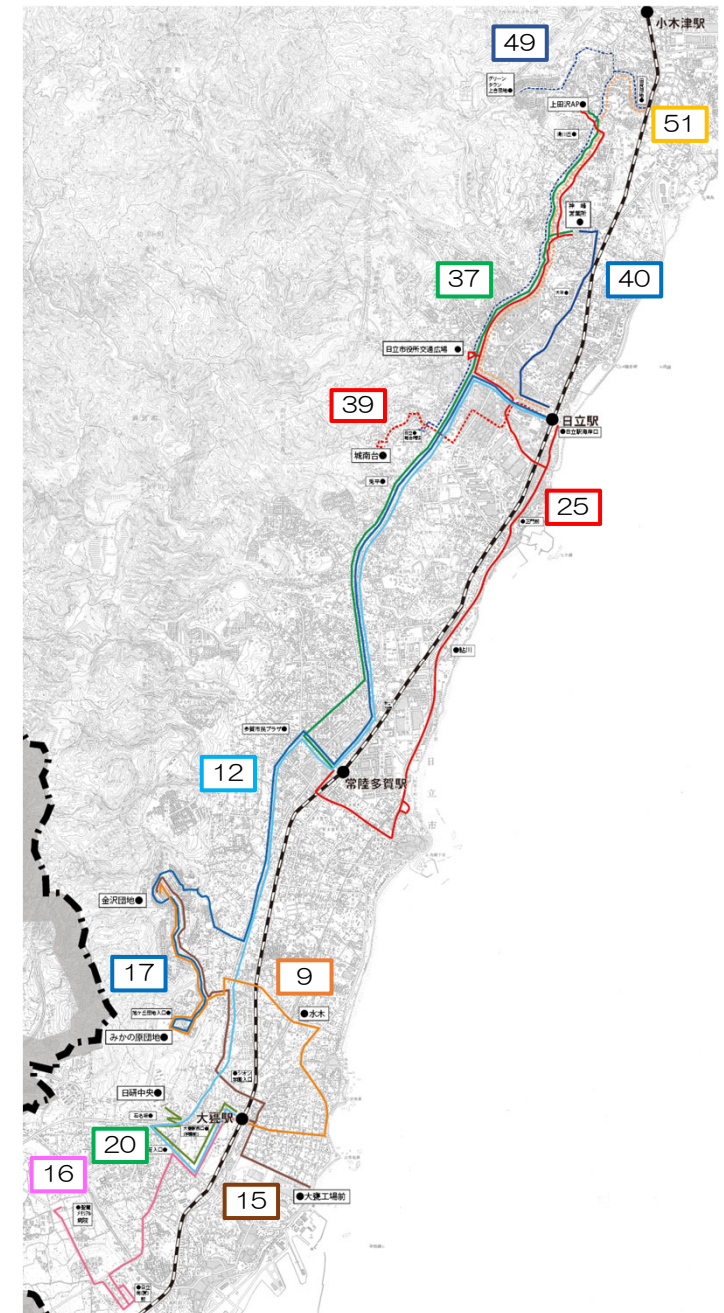


日立市地域公共交通利便増進実施計画

参考：第1次再編後期の計画変更
(2021年4月実施)

【2021年4月に減便を実施する路線】

- 2019年4月（第1次再編前期）及び2020年4月（第1次再編後期）に、ひたちBRT第Ⅱ期の本格運行（BRT専用道路の全区間開通と大甕駅東西駅前広場・取付道路整備）に合わせて段階的に再編事業を実施。
- 2020年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、想定外の利用者数の大幅減少が続いている。
- 感染症終息の予測ができない状況において路線バスネットワークを維持していくためには、利用状況に応じて運行回数を削減し、運行の効率化（運行経費の軽減）を図る必要がある。
- 2020年度の便別利用実績をもとに、利用者数が少ない、代替便がある（前後の時間の便がある、別の路線が運行している）便を削減する。合わせて、効率的な運行にするために一部路線の起終点を変更する。



対象路線	減便数（総便数）
再編対象路線 【路線番号：9,12,15,16,17,20,25,40】	32便（198便）
現状維持路線 【路線番号：37,39,49,51】	7便（72便）
合計	39便（270便）